

船舶事故等調査報告書

平成21年6月25日

運輸安全委員会(海事専門部会)議決

事故等番号	2009仙第37号	
事故等名	旅客船びなす衝突(棧橋)	
発生年月日時刻	平成21年2月1日21時05分ごろ	
発生場所	青森県青森港フェリーふ頭4号棧橋 (概位 北緯40° 50.6′ 東経140° 43.1′ )	
事故等調査の経過	調査の概要:平成21年3月27日仙台・地方事故調査官が海難報告書を入手 原因関係者からの意見聴取:意見なし	
事実情報		
船種・船名・総トン数	旅客船 びなす 7,198トン	
船舶番号	128514	
船舶所有者等	東日本シップマネージメント株式会社	
乗組員等に関する情報	船長 三級海技士(航海)	
負傷者	なし	
損傷	左舷船尾に擦過傷 フェリーふ頭4号棧橋防衝工の基部に損傷	
事故等の経過	本船は、車輛30台を搭載し、旅客42人を乗せ、青森港に入港するため、同港沖館東防波堤を通過した後、同港フェリーふ頭4号棧橋に着桟しようとした際、西寄りの強風が吹く中、機関、舵、バウスラスタを適宜使用して操船を行っていたところ、船体が風により圧流され、平成21年2月1日21時05分ごろ、左舷船尾が同棧橋先端付近の防衝工に衝突した。 当時、天気は雪で風速約8m/sの西北西風が吹き、視程は約10kmで、潮候は下げ潮の中央期であった。	
分析	気象・海象の関与 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 判明した事項の解析	あり あり なし 本船は、着桟操船中、投錨して棧橋への接近速度を調節するなど風圧流を考慮した操船を行わなかったものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、着桟操船中、投錨して棧橋への接近速度を調節するなど風圧流を考慮した操船を行わなかったため、西北西からの強風を受けて圧流され、左舷船尾が棧橋に衝突したことにより発生したものと考えられる。	
その他の事項	なし	